

学 部	中学部		学 年	1年		
教科等名	美術		グループ名	学年		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの形や色の特徴に気付き、自分なりの表現に合った材料を選ぶ技能を身に付ける。 ・道具の正しい使い方を知り、安全に使用する力を身につける。 ・表現を通じて自信を深め、自分で考えて制作する態度を養う。 					
担当教員	○鷲尾 圭介 松永 和也 桑原 真明 桐山 知行 三橋 淳輝 金子 蓮菜 大出 彩乃 佐野 堅太					
年間授業時数	70					
使用教科書	さ・え・ら書房 たのしいこうさくきょうしつ1					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	美術に関する鑑賞	通年	○	<ul style="list-style-type: none"> ＜鑑賞＞ ・外国の作品を鑑賞する。 ・友達の作品を鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の作品の良さを感じ制作意欲を高めることができる。 ・日本や外国の美術作品を鑑賞し、多様な芸術文化を知る。 ・他者の発表を見て、違いや良いところに気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品のよさが分かりやすいように提示の仕方を工夫する。 ・生徒の関心に合うビデオ教材を準備する。
	画材や道具の使いを学ぶ			<ul style="list-style-type: none"> ・画材の特徴を知る。 ・道具の使い方を知る。・画材の使い方を制作しながら学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具の使い方を知り正しく使用することができる。 ・学習や生活の中で道具を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な画材や道具を準備し、試せるようにする。
4	平面制作	4		<ul style="list-style-type: none"> ＜版画＞ ・モノプリントなどで描線を描いて、バレンで紙に写し取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な道具を使用して、線で描いてみる。 ・ローラーやバレンの使い方を知る。 ・描線を描く道具を得選んで描いたり、表現したものを鑑賞することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が興味をもてるような道具を準備する。
5	色を作ってみよう	8	○	<ul style="list-style-type: none"> ＜色彩＞ ・色の種類や特性を知る。 ・混色をして色の数を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な色の混色の仕方を知る。 ・色を混ぜて別の色を作ることができる。 ・混色に興味をもち自ら行おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩アプリを活用する。 ・絵の具などを使い実践しながら学ぶ。
6	季節の絵を描こう	7		<ul style="list-style-type: none"> ＜絵画表現＞ ・四季が味わえる季節の花などの絵の制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の制作を通して生活と美術のつながりを学ぶ。 ・イメージや自然から受ける印象などを表現することができる。 ・季節をイメージして、意欲的に制作することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事の写真を用意し、興味・関心をもてるようにする。 ・手順表や見本などを用意する。
6 7	コマ撮りアニメを作ろう	6	○	<ul style="list-style-type: none"> ＜立体表現・デザイン＞ ・カメラを使用した表現を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラを使いアニメ制作の仕方を知る。 ・自由な発想をカメラを使い表現することができる。 ・より良いものを作る意識を培う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コマ撮りアプリを活用する。 ・参考作品のほか手順表を用意する。
9	粘土工作	6		<ul style="list-style-type: none"> ＜陶芸＞ ・粘土の感触を知る。 ・粘土をこねる。 ・たたら板や麺棒の使い方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土の肌触りを感じ、感触を知る。 ・身体全体で粘土をこねることができる。 ・より良いものを作る意識を培う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の生徒の実態に合わせて自助具やガイドを使用する。
10 11	学習発表会の準備をしよう	13		<ul style="list-style-type: none"> ＜立体表現・デザイン＞ ・学習発表会で使う背景や大・小道具を制作する。 ・学習発表会のポスターを制作する。 ・展示見学、準備、片付け 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な用具を選び使することができる。 ・イメージに合う道具を作り、発表会に期待感をもつ。 ・舞台を美しく飾ることで美術を愛好していく心情を培う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物の写真やイラストを用意し、イメージをしやすいうようにする。
12	ステンシルと版画で描こう	7		<ul style="list-style-type: none"> ＜版画・絵画表現＞ ・ステンシルやスタンプなどでテーマに沿って色と形の平面構成をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具の量などの調整をしながら、空間を自分で構成することができる。 ・生徒がお互いの作品を鑑賞し合うことで、自分と他の人の生み出す効果の良さや違いなどを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実態に応じた道具や環境を準備する。
1	垂らし絵を描こう ひもで描こう モダンテクニック	6		<ul style="list-style-type: none"> ＜絵画表現・工芸＞ ・和紙染めを体験する ・絵の具の様々な表現に挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工程に沿って墨や染料で様々な模様染める。 ・絵の具を使用した様々な表現方法に触れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実演をしてイメージしやすいうようにする。
2 3	共同作品を作ろう	13		<ul style="list-style-type: none"> ＜絵画表現＞ ・自由な発想で描く。 ・画材の扱いを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由な発想で表現することができる。 ・画材の出す効果に興味をもち自ら行おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工程を分かりやすく区切って、見通しをもちやすくする。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。